

平成24年度 大学要覧 九州国際大学

Kyushu International University

学歌

作詞 高木孝詮
作曲 山田耕筰

一、平和の鐘は 高鳴りて

輝く春に 開かれし

我が学舎の 使命こそ

弥生の空に 照り映えて

自由の光 弥増さむ

自由の光 弥増さむ

二、北九州に 堂々と

高く聳ゆる 学園は

橘繁茂る 我等が母校

馥郁として 匂うかな

皆人求め 来たらなむ

皆人求め 来たらなむ



九州国際大学

□法学部／法律学科 □経済学部／経済学科・経営学科 □国際関係学部／国際関係学科
□大学院／法学研究科（修士課程）・企業政策研究科（修士課程）

<http://www.kiu.ac.jp/>

〒805-8512 福岡県北九州市八幡東区平野1-6-1 TEL.093-671-8910(大学総務室)



一人ひとりを成長させる大学。



学長
堀田 泰司

本学は、1930年に「九州法学校」からスタートし、創起80有余年を迎えた伝統校であり、現在、3学部（法学部、経済学部、国際関係学部）、2大学院研究科（法学研究科、企業政策研究科）を擁し、3万5千人以上の卒業生が地域で活躍しております。本学における開学以来の「塾的精神」は、現在も教育のあり方として受け継がれており、地域社会のニーズに応えるべく、法学部に警察官・消防士など公務員を目指す学生のための「リスクマネジメントコース」、「資格取得・不動産管理コース」を開設、また経済学部には、基礎から最先端（フロンティア）までの理論が学べる「地域づくりコース」、「ビジネス・アカウンティング・コース」、「ビジネスリーダー・コース」を、さらに国際関係学部には、語学の修得とともに観光ビジネスや国際協力の面で活躍できる人材の養成をめざす「英語コース」、「ハングルコース」、「観光ビジネスコース」、「国際協力コース」を開設しております。さらに、2012年度から、新たな地域貢献の一環として、北九州市無形民俗文化財の「前田祇園山笠行事」に参加し、学生が社会人基礎力を得るため、新たな大学行事を展開しています。このように、社会から学生を“本気で鍛える”大学として評価されるよう努力し、北九州地域の教育・研究の拠点としてその発展に貢献する学園づくりをめざしています。

建学の精神
以ッテ誠実、有為ナル人材ヲ養成スル
塾的精神ニ依リ、相互ニ心的鍛錬ヲナシ、
単ニ知識ヲ授ケルバカリデナク、

九州国際大学の設立目的

学校法人九州国際大学はそのルーツとも言うべき「九州法学校」の設立趣意書に述べられた「本校ハ単ニ法律及ビ経済ノ知識ヲ授ケルバカリデナク、塾的精神ニ依リ、相互ニ心的鍛錬ヲナシ、以ッテ誠実、有為ナル人材ヲ養成スル」を建学の精神とし、連綿と受け継いでいます。現在、本学園は九州国際大学大学院、九州国際大学、付属高等学校並びに付属中学校を設置し、地域貢献、地域交流、国際交流、生涯学習事業の推進などを図り、地域社会から評価される『開かれた学園づくり』に邁進しています。九州国際大学大学院は、多様な地域社会のニーズに貢献し得る高度の専門的知識と素養を備えた職業人を養成することを教育研究の目標としています。九州国際大学は、北九州の勤労青年の為に開設された夜学の九州法学校、戸畑専門学校を前身とし、八幡専門学校、八幡大学を経て、平成元年九州国際大学と改称。平成12年4月に法人・大学組織は、北九州市が市の国際交流ゾーンに指定した北九州市八幡東区平野への移転統合を完了しました。この移転を契機に、近年特にニーズの高い情報教育に対して教育情報ネットワークセンターを設け、学生が自由にパソコンを使用できる環境を整備しました。エクステンションセンターも設立（平成11年4月）し、学生のみならず社会人を対象にした公開講座・市民講座を行うように努め、開かれた大学づくりに力を注いでいます。

このように、「人づくり」こそ教育の基本とした「建学の精神」に基づいて日常の教育活動を実践します。

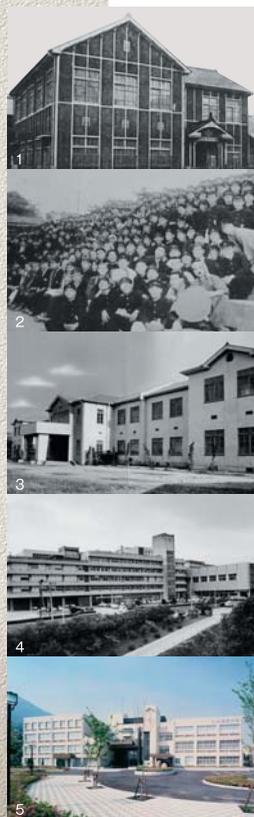
〈大学の概要・沿革〉	
02	建学の精神 設立目的
03	九国大の歴史／大学創起80年
04	大学組織図
05	中期計画概要図
〈教育活動〉	
07	学部・学科／大学院紹介 □法学部／法律学科 □経済学部／経済学科・経営学科 □国際関係学部／国際関係学科 □大学院／法学研究科・企業政策研究科
11	国際交流支援プログラム
12	正課外教育／エクステンションセンター
〈研究活動〉	
13	地域連携・社会貢献
15	研究活動／社会文化研究所
〈環境・支援〉	
17	施設設備
19	教育サポート
20	学生生活支援制度
21	就職サポート・就職実績
23	付属学校 □九州国際大学付属高等学校 □九州国際大学付属中学校
24	各種データ一覧
27	教員紹介
29	役員・役職員一覧
30	インフォメーション

1930年の創起以来、3万5千人もの人材を地域社会に送り出しています。

本学は九州帝国大学(現在の九州大学)法文学部の先生方が地域の勤労青年のための夜学として設立したものです。昭和15年にはこの九州法学校が『九州専門学校』となり、昭和22年には戸畑地区移転により『戸畑専門学校』として生まれ変わることとなり、本学園が創設されたのです。地域の発展とともに昭和24年に『八幡専門学校』と改称、昭和25年には『八幡大学』として新制大学の仲間入りをしました。

その後、昭和33年に第一次ベビーブームの進学先として附属高等学校(男子部)を、また昭和38年に女子の普通科進学校として附属高等学校(女子部)を開校し、地域の皆さんから信頼と高い評価をいただいております。さらに、平成元年には『学校法人九州国際大学』と名称変更。

そして現在もお、地域の皆様によりいっそうの信頼と評価をいただくために邁進しております。



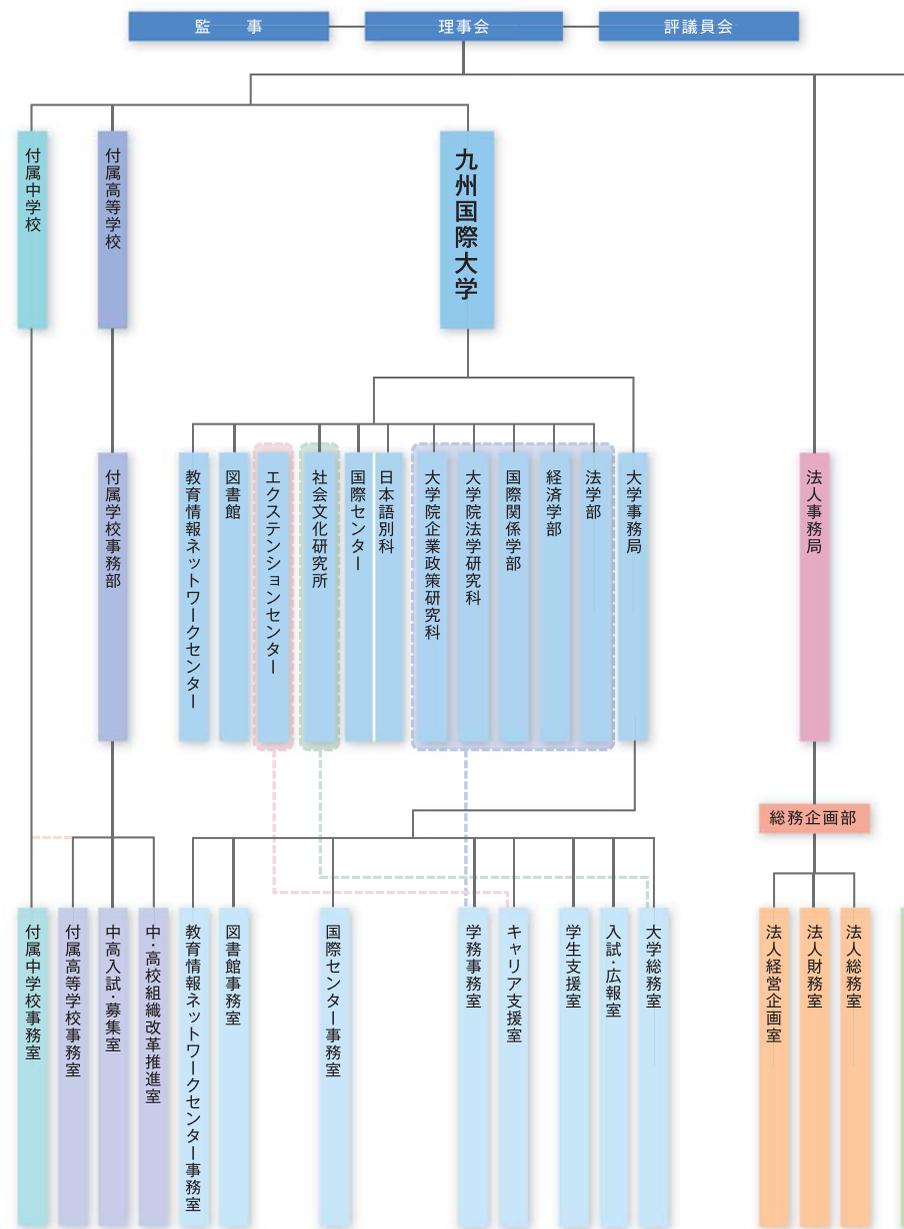
1.現在のリバーウォーク北九州付近に建てられた校舎/2.第一回体育大会の様子
3.戸畑市中原字に開学/4.枝光キャンパスの全景/5.1989年当時の平野キャンパス

- 九州法学校時代 (1930年~1940年)**
- 1930年(昭和5年) 4月 九州法学校開設
- 九州専門学校時代 (1940年~1944年)**
- 1940年(昭和15年) 春 九州専門学校創立
- 戸畑専門学校時代 (1947年~1949年)**
- 1947年(昭和22年) 3月 戸畑専門学校創立
- 八幡専門学校時代 (1949年~1950年)**
- 1949年(昭和24年) 3月 八幡専門学校に改称
- 八幡大学時代 (1950年~1989年)**
- 1950年(昭和25年) 2月 八幡大学設立 法学部第一部・第二部設置
- 1951年(昭和26年) 4月 経営経済学科を増設
- 1958年(昭和33年) 4月 附属高等学校(男子部)設置
- 1963年(昭和38年) 4月 附属高等学校(女子部)設置
- 九州国際大学時代 (1989年~)**
- 1989年(平成元年) 4月 八幡大学より九州国際大学へ校名変更
- 1994年(平成6年) 4月 法経学部を法学部と経済学部に改組
- 1996年(平成8年) 4月 大学院法学研究科(修士課程)を開設
- 2000年(平成12年) 4月 KIUドーム(平野記念館)・3号館完成
- 4月 九州国際大学附属中学・高等学校 設立
- 2001年(平成13年) 4月 大学院企業政策研究科(修士課程)を開設
- 2005年(平成17年) 4月 国際商学部を国際関係学部に改組
- 2010年(平成22年) 4月 九州国際大学創起80年
附属高等学校男子部・女子部を統合

九州国際大学創起80年

昭和5年に九州法学校を開設して以来、九州国際大学は平成22年、創起80年の節目を迎えました。これを記念して創起80年記念事業を行っています。(詳しくはP.14へ)

学校法人九州国際大学 組織図



持続性のある確かな競争力の確立

中期目標 「地域に根ざした、北九州地域魅力回復を目指した好循環

地域のトップ私大」としての創出

4. 学生主体の大学生活支援で学生満足度を高める

- ① 学生満足度を高めるキャンパス・アメニティーの向上
- ② 「退学者4%以下」を目指す学生支援の充実(担任・副担任サポート)
- ③ 生活実態調査、満足度調査の実施
- ④ サークル活動、体験活動、文化活動、ボランティア活動の支援
- ⑤ 適正で規律のある奨学金制度の確立
- ⑥ 学生間交流の支援(ゼミ連合大会、大学間交流)

3. 研究力の強化と外部資金の獲得

- ① 研究費の一律配分の見直しと地域共同研究の推奨
- ② 外部の競争的研究資金獲得の促進と支援
- ③ 研究成果還元を奨励する制度の確立(間接経費の使途)
- ④ 研究活動の成果PR(学会発表の奨励)

5. 大学の資源の活用と社会貢献

- ① 地域社会との連携
- ② 高大連携の積極的推進(付属高校、学外)
- ③ 外部人材の登用による活性化(特任・客員教員)
- ④ 地域社会をフィールドとした共同研究の奨励
- ⑤ 研究成果の還元(情報公開・発信)
- ⑥ 施設設備の地域開放促進(図書館、教室、ネットワークなど)

2. 教育力の強化と授業の改善

- ① 「一人ひとりを育てる教育」の実践
- ② 人材養成を明確にしたカリキュラムの整備(スリム化と初年次および少人数教育、フィールドワーク重視の学習スタイルの拡充)
- ③ 初年次・教養教育の見直し
- ④ 教育の「質」の保証、FD活動による教育方法・技術の向上
- ⑤ 「教職協働」による教育・学生生活の支援の改善、改革

中期計画の重点項目

- ① 育てる教育システムの構築
- ② 地域社会への貢献
- ③ 就職率の向上

6. 就職・進路支援の強化

- ① 「ニート0、就職率100%」をめざす
- ② インターシップの着実な実施(企業・行政との連携、ニーズ調査)
- ③ 学生に対するキャリア教育・資格取得の支援(学内連携)
- ④ 積極的な企業開拓(行政の産業誘致など地方自治体の情報収集)
- ⑤ 既卒者とのネットワーク(同窓会との連携含む)

1. 意欲ある学生の確保

- ① 「一人ひとりを育てる教育」を通じた意欲ある学生の確保
- ② 地元、特に下関・北九州エリアを中心とする受験生への活動
- ③ 生徒等受験生への直接的なアピール方法の実践
- ④ 教育・研究成果の広報コンテンツ化とその共有

研究活動や地域貢献活動にもとづく教育の質の向上 出口の成果が入口の水準向上に繋がる好循環の創出

7. 大学運営・経営の効率化

- ① PDCA(計画、実行、点検評価、改善)
- ② サイクルの実行⇒自己点検評価のルーチン化
- ③ 教育組織の見直し
- ④ 人事考課制度の実質的な活用
- ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑥ 計画的な人事政策の確立
- ⑦ データによる経営・戦略による改革の実践

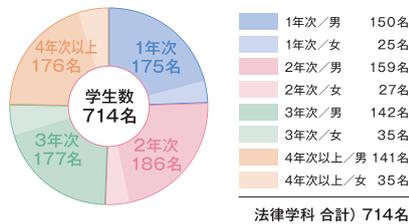
学部・学科／大学院

法学部

法学部では警察官や行政職員として、地域の発展や安全・安心な社会づくりに貢献したいという学生を受け入れる「リスクマネジメントコース」、「資格取得・不動産管理コース」を設置しています。これらのコースは、法学部の学生の多くがめざす公務員や資格取得を、より確実なものにしようと生まれたものです。本学部には少人数のゼミや課外活動、地域と一緒に課題を解決していく連携活動など、ユニークな教育プログラムがあります。こうした学内外でのさまざまな体験を通して得る知識やコミュニケーション力で、業種を問わず、社会で活躍できる人材を育成します。

法律学科

〈学生数内訳〉



〈総合実践法学科 学生数内訳〉

※総合実践法学科は2001年に法律学科に統合し、新規募集は2008年度までのため5年次以上のみの在籍数

5年次以上/男	9名
総合実践法学科 合計	9名

法廷での裁判ではさまざまな事例があります。いろいろな事象を整理し、論点を見つけ、論理的に話を組み立てて説得する。法学部の学生が社会から高く評価されるのは、「問題を発見し、解決する力」があるからです。九国大では進路に合わせたコースを設定し、ユニークなカリキュラムと熱心な指導で、学生の夢の実現を後押しします。

法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力修得を基本とし、それに加えて「実践力」の獲得を重視します。そのために、フィールドワークなどの実習を採り入れ、地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルの育成に力を入れます。

〈リスクマネジメントコース〉警察官・公務員をめざす

警察官、消防士、行政職員に必要な危機管理の考え方や手法を学べます。行政・企業におけるリスクが増大するなか、将来性の高い分野です。

〈資格取得・不動産管理コース〉就職に有利な資格を取る

宅建や行政書士などの国家資格取得や、法律のスペシャリストをめざす人のロースクール進学をバックアップします。

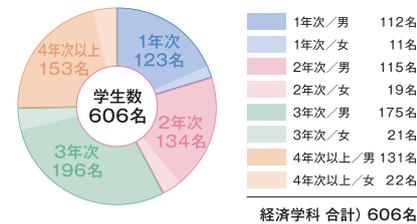


経済学部

多様化する現代社会で「問題発見能力」と「問題解決能力」を発揮できる人材の育成。それが経済学部の教育目標です。そのため国内外のさまざまな経済活動が理解でき、今日の国際化や情報化した社会に沿った幅広い教養と専門的知識、さらに高いコミュニケーション能力を養えるようカリキュラムを工夫しています。経済学科では経済の理論と知識を修得し、世界と地域の経済を見つめる確かな目と、深い教養、豊かな人間性を身につけた人材を育成します。経営学科では経営管理やマーケティングを学んで、実践的なマネジメント能力や情報・会計のビジネススキルを修得し、社会で活躍できる人材を育成します。

経済学科

〈学生数内訳〉



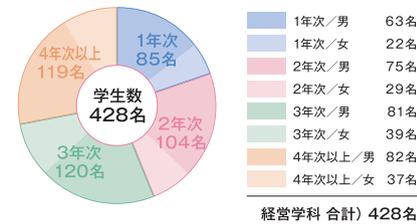
経済学という利益の追求をめざすものと思われがちですが、もともとは成果の不平等をなくし、人を幸せにすることを目的とした学問です。そのため経済学科では、国際的な視野で経済を考えられる知識と、それを活かす方法までを立案できる人材を育てていきます。「地域づくりコース」では、地元の企業や地方公務員としてふるさとの活性化に寄与する人を育てます。

〈地域づくりコース〉地元企業・地方公務員をめざす

地方分離の流れが加速するなか、自立のための地域づくりを担う人材育成が急務になってきました。地方を地元住民・地元企業・行政との連携による一つの地域として一体的に把握。地域再生の歴史や現状、事例、さらに手法を学びます。

経営学科

〈学生数内訳〉



売れる商品を開発するためには、生活者が何を求めているかを知らなければなりません。このように“人”を中心に、組織や企業活動を考えていくのが経営学科です。マーケティングや会計学、経営管理など実践力になるカリキュラムを開講し、社会で活躍できる人を育てます。

〈ビジネスリーダー・コース〉実務体験で生きた経営を学ぶ

企業経営に必要な知識とスキルを身につけ、将来経営者として、あるいは地域経済リーダーとして活躍できる人を育てます。専門論理に裏付けられたインターンシップなどの豊富な実務体験で、北九州の経営者と共に生きた経営学を学びます。

〈ビジネス・アカウンティング・コース〉税理士・会計士をめざす

日商簿記検定2級の全員合格を最低ラインに、1級合格、さらに税理士試験、公認会計士試験に向けての基礎知識を学んでいきます。30名限定の特別クラス編成で、会計学担当教員が4年間担当として徹底指導。資格取得にとどまらず、分析結果を明解な文章で説明できる、大卒ならではのプロを育てます。

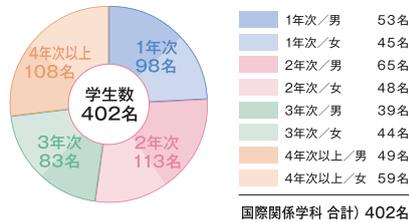
学部・学科／大学院

国際関係学部

本学の国際関係学部には、すぐれた語学プログラムと、世界の「今」を学ぶための充実したカリキュラムがあります。現代を生き抜くためには、常に変化する世界経済や国際政治の枠組みの中で、社会、文化、国家を冷静かつ客観的に見つめ、他の国々との関係を分析できる能力が必要です。卒業生たちはその能力を生かし、英語教育の現場や国際ツーリズム、貿易といった企業をはじめ、国際NGOスタッフなど多方面で活躍しており、今後ますます、そうした人材が求められることは間違いありません。英語や韓国語を中心とした言語能力を活かし、世界で活躍する人材を育成します。

国際関係学科

〈学生数内訳〉



〈英語コース〉使える英語を身につけるための学習支援
国際関係学部の柱のひとつである国際言語運用能力、その中でも「英語」は「世界共通言語」として最も重要な言語です。英語コースは徹底した英語教育を行います。到達度別クラス編成で、自分の英語力に適したクラスからスタートし、レベルに応じて段階的に学習していきます。

〈ハングルコース〉韓国語と「韓国」を学ぶ

ヒトやモノ、情報の流れが広がり続ける日韓両国ではハングルを駆使できる人材が求められています。ハングルコースは、楽しさと実践的な講義で、需要が高まる韓国語のスペシャリストを育てます。

平成23年度より、従来の英語コースやハングルコースでの語学教育を活かしつつ、学生のニーズに合わせた実践的な教育を行う「観光ビジネスコース」と「国際協力コース」を新設しました。

両コースでは、これまでに国際関係学部が取り組んできた国際理解教育や語学教育を基盤として、特にホスピタリティ・マインドに裏打ちされたコミュニケーション能力や他者理解、企画マネジメント能力などを身につけていきます。入学直後の合宿型のプログラムでの仲間作りから始め、充実した初年次教育で大学での学習への円滑な移行、将来設計への継続的な助言、実践的な学習、課題探究型プロジェクト研究など、4年間を通してきめ細かな指導と基礎からの段階的な教育を行います。

〈観光ビジネスコース〉実践的・実務的アプローチの学習

旅行、ホテル、鉄道などの観光ビジネスを中心とするホスピタリティ産業への就職をめざします。さらには旅客を扱う鉄道やバス、航空、テーマ・パークなど、多分野において求められる能力を培うことができるように、実践的・実務的なアプローチを重視するとともに、関連する資格・検定対策に必要な知識を提供できるようにカリキュラムや支援制度を準備しています。

〈国際協力コース〉協働する技術を学ぶ

NGOやNPO、青年海外協力隊や国際関連機関などで将来的に活躍できる人材を育てます。国際関係学部が力を入れるホスピタリティに根ざしたコミュニケーション能力は、まさに国際協力の取り組みに必要とされるものです。語学はもちろん、グループワークなどの参加・体験型学習を通じて対話を積み重ね、国内外での実践的な「実習」を数多く経験していき、教員と学生が二人三脚で取り組んでいきます。

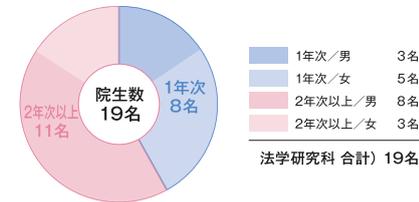
大学院

大学院修士課程は、高度専門職業人の養成を目的としての知識と専門性を高めていきます。法学研究科では、企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の修得をめざします。企業政策研究科では、経営実務に関する高度な知識、企業を取り巻く外部環境にかかわる専門知識をもつ人材の育成をめざします。

本学(学部)は夜間部として開学し、長きにわたり勤労者教育の精神を受け継いで勉学の間を提供してきましたが、近年、学部教育における夜間主コースの入学者及び有職者の入学者が減少しているため、昼夜開講制度を廃止しました。今後の勤労学生の夜間教育の目的は大学院に継承していくこととなります。

法学研究科

〈院生数内訳〉



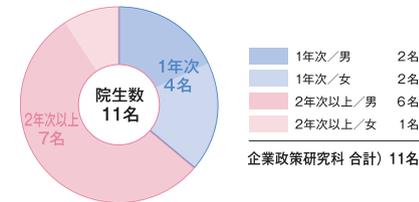
大学教員や国税専門官を輩出する

企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の修得をめざします。卒業生は大学教員やロースクール進学、国税専門官など、法律の専門家やビジネスマンとしてのキャリアを積んでいます。



企業政策研究科

〈院生数内訳〉



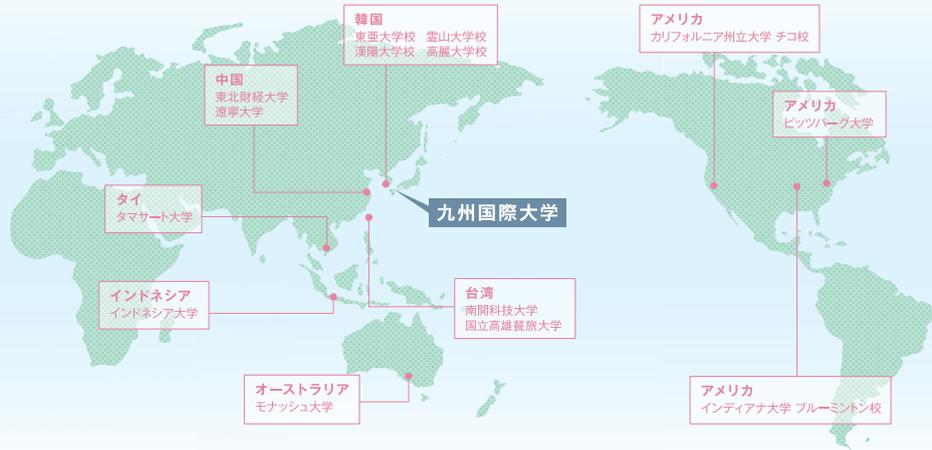
高度な職業人を育成する

きびしい競争を勝ち抜くためには、適格な経営戦略とそれをやり遂げる実務者が必要です。企業政策研究科が育てるのは、そんな高度な職業人。学部卒業とはひと味違う専門職として、活躍の場が広がっています。



国際交流支援プログラム

本学では、北九州の地域に立脚し、国際的視野を持った理論・実践両面に明るい人材を養成するため、アジア地域を中心とした諸大学との国際交流を推進しています。そのため、海外の諸大学と交流協定を締結し、専攻分野における研究交流や交換留学など国際交流を積極的に展開しています。



〔4年間での卒業も可能〕

■ 交換留学制度

半年あるいは1年間、協定校に留学できる制度です。留学先の大学では興味のあるテーマに沿った科目を受講、取得した単位は最高48単位(半年の場合は24単位)まで本学の単位として読み替えることができますので、4年間での卒業が可能です。1年間生活することで、言語はもちろん歴史や自然、さらにビジネスの現場など、その国を深く知ることができます。この留学をチャンスに、海外企業に就職して活躍している卒業生もいます。

交換留学先 韓国／東亜大学校・漢陽大学校
霊山大学校・高麗大学校
中国／東北財経大学・遼寧大学
台湾／南開科技大学・
国立高雄餐旅大学
インドネシア／インドネシア大学

〔語学力を磨く〕

■ 認定留学制度

派遣時に原則として本学に1年以上在学していれば、海外の大学に半年から1年間留学できます。費用は全て自己負担となります。

〔ボランティアなど貴重な経験ができる〕

■ 海外社会実習

主にアジアの国を訪問先とするスタディツアーです。日系企業の訪問や現地のNPO・NGOとの交流など、普通のツアーでは経験できないことを盛り込んでいます。

〔ホームステイが楽しい〕

■ 海外語学実習

長期休暇を利用して、韓国・中国・台湾・アメリカなどの大学で語学を学びます。また、アメリカやオーストラリアでは、ホストファミリーとの心あたたまる交流ができ、一生の思い出になります。参加費用の奨励金制度もあります。

〔ホスピタリティを学ぶ〕

■ ホスピタリティ交換留学・実習留学

台湾随一の人材育成プログラムを持つ国立高雄餐旅大学で、本格的なホスピタリティの知識とノウハウを学びます。国際関係学部の「観光ビジネスコース」の学生が対象で、半年から1年の交換留学・実習留学制度です。

〔海外への留学実績〕

イギリス／オーストラリア／韓国／中国／台湾／インドネシア／フィリピン

正課外教育



学生の目標達成を支援するために、司法試験を始めとする各種資格試験、公務員試験、大学院・法科大学院入学試験等の受験希望者へ、研究棟内において教員用の個人研究室を提供し学習支援を行っています。またエクステンションセンターでは、「地域に開かれた国際理解・交流のアカデミック・コミュニティ」をめざし、本学生はもとより、学外の社会人の方も積極的に講座受講生として迎え、講座を開講しています。

〔4カテゴリーにて講座を開講〕 エクステンションセンター

講座の講師陣は、実務担当者や専門学校専任講師を中心としたエキスパートをそろえ、適切な指導法で高い合格率をめざしています。大学1・2年生の早い時期に様々な講座を受講し、実社会で活躍するための土台作りのお手伝いをします。他大学、短大生、専門学校生、一般の方々も受講可能です。

1. 資格取得講座

2. 就職支援・キャリアアップ講座

3. 教養講座

4. 提携講座(自治体や企業等と共同で講座を開講)

■ エクステンションセンター講座 (2012年度/学内実施)

区分	講座名	期 間	回数	曜日	時 間			
公務員	公務員受験対策	地方上級・国家一般職コース	H24. 5月22日~H25. 6月13日	228	火・木	18:00-21:10		
		警察官・消防官・市町村役場コース	H24. 5月22日~H25. 5月8日	124	火・木			
		教養科目基礎コース	H24. 6月18日~H25. 3月11日	72	月・土			
国家資格	宅地建物取引主任者	受験対策コース(答練含)	H24. 4月24日~10月19日	41	火・金	18:00-20:30		
		直前答練コース	H24. 9月18日~10月19日	7				
	行政書士	通年コース(答練含)	H24. 4月24日~11月9日	52	火・金			
		直前答練コース	H24. 10月9日~11月9日	10				
旅行業務取扱管理者	W合格コース	総合旅行合格コース	H24. 5月15日~10月5日	26	火・金	18:00-20:30		
		国内旅行管理者コース	H24. 4月24日~9月7日	25				
公的民間資格	日商簿記検定3・2級コース		H24. 5月7日~H25. 2月22日	74	月・水・金	18:00-20:40		
			H24. 5月19日~6月9日	4	土	9:30-16:30		
	秘書検定3・2級コース		H25. 2月4日~2月7日	4日間	月~木	9:30-16:30		
		マイクロソフトオフィススペシャリスト2007	Word		H24. 6月23日~7月28日	6	土	9:30-12:30
				H24. 9月5日~9月8日	4日間	水~土	9:30-16:30	
				H24. 11月10日~12月15日	6	土	13:30-16:30	
				H24. 6月23日~7月28日	6	土	13:30-16:30	
	Excel			H24. 9月12日~9月15日	4日間	水~土	9:30-16:30	
				H24. 11月10日~12月15日	6	土	9:30-12:30	
			Access		H25. 2月25日~2月28日	4日間	月~木	9:30-16:30
					H24. 9月18日~9月20日	3日間	火~木	9:30-16:30
	Power Point		H25. 2月12日~2月14日	3日間	火~木	9:30-16:30		
			H25. 2月15日~2月19日	4日間	金~火	9:30-16:30		
	Excel[上級]		H25. 2月20日~2月23日	4日間	水~土	9:30-16:30		
ビジネス実務コース		秘書検定3・2級 / Word2007 / Excel2007	3講座のH24年度実施日から都合の良い日を選択し、受講することが出来ます。					
MOSマスター取得コース	Word2007[上級] / Excel2007[上級] / Access / Power Point	4講座のH24年度実施日から都合の良い日を選択し、受講することが出来ます。						
教養講座	韓国語	入門コース	H24. 5月8日~12月18日	30	火	18:30-20:00		
		初級コース	H24. 5月10日~12月20日	30	木			
	中国語	入門コース	H24. 5月10日~12月20日	30	木			
初級コース		H24. 5月8日~12月18日	30	火				

地域連携・社会貢献

近年、産業構造の変化や雇用の急速な流動化により、勤労者自らがより高い職業の知識や技能を習得しなければならない時代を迎えたとされています。大学をはじめとした高等教育機関における産学連携関連施策が推進され、企業からの研究員や研究契約、知的財産に関する産学連携がますます活発になっています。このような背景の下、本学園も社会的貢献・地域連携など地域との社会的つながりや諸制度への対応をはじめました。

本学園の発展をめざし、地域の住民諸氏ならびに企業との連携を図りながら、教育・研究の推進、地域の活性化やその連携のあり方について総合的に調査を進めるとともに、地域発展のため重要な役割を担う地域の教育機関へと発展していくことをめざしていきます。

地域連携事業

地域連携の実施

本学のエクステンションセンターでは語学や情報技術などの一般教養的な講座から資格取得に関する各種の講座を実費経費負担にとどめる格安の受講料で開講しています(講座内容はP.12参照)。また、図書館やネットワーク接続機器など、各種情報メディアの一部を地域住民や市民に無料で開放したり、大学の施設等を貸出しております。

施設の貸出しについて

日曜、祭日及び長期休暇の学校行事(課外活動を含む)のない日を中心に、施設(教室及び体育館)を貸出(有料)しています。また平日についても講義に支障がない限り、同様に貸出しています。

【教室】1号館/2号館/3号館
KIUホール/メディアセンター
【体育館】アリーナ(1面)/アリーナ(2面)
トレーニングルーム
畳道場/床道場
ウエイトリフティング場



■ 高大連携の一環としての「出張講義」

本学では、高大連携の一環として「出張講義」を実施しています。大学の教員が高等学校へ向かい、関心の高いテーマでできるだけわかりやすく講義を行います。これは高校生の「知りたい」「学びたい」という気持ちを育てようと、地域への貢献活動の一環としてはじめたもので、年々実施校も増えてきました。高校1年生や2年生といった早い時期に、大学の講義の雰囲気を経験することで、大学で学ぶことへの興味や関心が高まり、将来の進路を考える上で役立つことを願っています。

■ 地域安全パトロール

本学周辺並びに八幡東区周辺にかかる暴走行為や少年非行の抑止及び各種災害の防止活動をはじめとした地域の安全・清掃活動等に貢献。安全で安心できる「まちづくり」に寄与する目的で平成22年10月に地域安全パトロール隊を発足しました。本学職員・学生が警察・地域防犯ボランティアと連携して定期的に防犯パトロールを実施しています。

■ 地域貢献・体験型学習

平成24年度より、新たな地域貢献・体験型学習の一環として北九州市無形民俗文化財の「前田祇園山笠行事」に本学の、山笠一基(橘山)が競演会に参加します。前田祇園山笠保存会の指導の下、学生が社会人基礎力を得るため、「地域との交流」と「文化の伝承」を体験できるよう、学生・大学教職員・地域の方々が一丸となって取り組んでいます。



産学官連携

大学等の特色を生かした事業の推進や、産学官連携の裾野の広がり、地域振興やMOT、文理融合の産学官連携、複数の大学との合同事業など、九州地域内の産学官連携の促進のためのシンポジウム・セミナー等の事業を支援します。

【産学官連携事業による講演会実施報告】

■ 講演会・シンポジウム開催(平成21年10月開催)

「玄海圏(韓国南部地域-九州北部地域)における地域連携のあり方~特に環境問題解決の視点から~」(主催/九州国際大学大学院企業政策研究科)

【北九州市民カレッジ】実施場所/九州国際大学3号館3階法廷教室

(平成24年度)

一般的には難しいと思われている「法律」という分野ですが、実は意外と私たちの生活に密接にかかわっています。そこで、政治、外交、借金の利息過払い問題、中国裁判、裁判員裁判という幅広いテーマをとりあげ、本学のそれぞれの分野の専門家より、わかりやすく解説していきます。また、最終回は九国オリジナルの模擬裁判を見ることができ、貴重な体験が得られます。

日程	テーマ	担当講師	日程	テーマ	担当講師
11月10日(土)	1. 「法」ってなに? 2. 借金の過払い問題を考える 3. 憲法及び行政法の視点から時事問題を考える	吉村 真性 菅尾 暁 神山 智美	12月8日(土)	1. 中国の裁判はどうなっているのか? 2. 刑罰とは何か? 人に罰するのは何のため?	吉村 真性 通山 昭治 鈴木 博康
12月1日(土)	領土問題を法的に考える	吉村 真性 竹村 仁美	12月15日(土)	1. 刑事裁判とは? 2. 学生諸君による模擬裁判の市民公開!	吉村 真性

社会貢献事業

九州国際大学創起80年

昭和5年に九州法学校を設置して以来、九州国際大学は平成22年、創起80年の節目を迎えました。これを記念して創起80年記念事業の一環として、さまざまな社会貢献事業を行っています。そして次の100周年を目指し、新たな事業活動に取り組んでいきます。

DREAM100 作文コンテスト



本学は平成22年、創起80年を迎え、80文字以内で夢を語るDream80作文コンテストを記念事業として行いました。力強く希望に満ちた夢作文は多くの方々から好評をいただき、さらに本学の「社会貢献文化事業」として「100周年を目指す九州国際大学」をキーワードに、100文字以内で語っていただく作文コンテストを実施しました。

「児童養護施設高校進学支援制度」創設



創起80年記念事業の一環として、北九州市内の児童養護施設に入所する高校生を対象に経済的支援を目的とした学費免除制度を創設しました。子供たちを明るい社会に送り出すための支援制度を永続的に続けることで地域に貢献していきたいと考えています。

研究活動

社会文化研究所

社会文化研究所は九州国際大学の前身である旧八幡大学で、昭和39年に産業文化研究所設立以来、学術研究・出版活動のほか学術講演会の開催、市民・学生を対象とした各種の資格試験講座等を主宰してきました。講座等は、その後設置された「九州国際大学エクステンションセンター」の事業として研究所から分離されたため、現在では本学教員による全学的な研究活動の拠点として、その役割が位置づけられています。また、平成20年度より、積極的に外部資金を受け入れ、いっそうの研究活動の活性化と地域連携・社会貢献を行っています。

事業活動と運営

平成20年度における研究所の主な事業は、本学教員が研究テーマに応じて自主的に申請する特別研究図書費の新設と、その研究成果等を発表するための出版事業となっています。この成果は、『社会文化研究所紀要』(年2回刊行)等によって公開され、国内の大学研究所等の研究機関と相互に交換されています。研究所における研究活動及び出版事業は、社会文化研究所運営委員会が自主的に管理しています。なお、研究成果報告書『KIURサーチジャーナル』の発刊にも取り組みます。

所蔵研究資料

社会文化研究所では、新日本製鉄八幡製鉄所から一括して譲り受け膨大な資料を所蔵しており、現在、これらの資料をすべてCD-ROMに記録する作業が続けられています。現在も、日本の経営史に関する貴重な資料として、学内外の研究者によって利用されています。

過去の主な事業活動

平成21年度の主な事業活動

1.公開講座等

「製鐵所と世界遺産」(連続公開講座) [全4回]

■会場：九州国際大学メディアセンター1階、及びKIUホール
 ■講師：清水 憲一(経済学部)、菅 和彦(元新日本製鉄八幡製鐵所) ■パネラー：陶山 正徳(福岡県世界遺産登録推進室長)、松尾孝治(社)北九州青年会議所直前理事長)、井上龍子(八幡駅前開発(株)専務取締役)

平成22年度の主な事業活動

所属	代表者	研究テーマ
法学部	鈴木 博康	リスク化社会に対応する法制度の整備に関する基礎的研究
経済学部	脇山 昇	大学の会計教育改革とその北九州地域への貢献
国際関係学部	山下 睦男	中国の東北地区における「遼寧省沿海経済ベルト計画」と「閩江地域協力開発計画」の現状と今後の動向について



平成23年度の主な事業活動

所属	代表者	研究テーマ
法学部	神山 智美	北九州市のアーバン・エコツーリズムの取組と評価
経済学部	男澤 智治	日韓地域産業と企業間連携-環境産業の連携可能性- (日韓国際シンポジウム企画)
経済学部	清水 憲一	産業遺産保存の基礎的研究
経済学部	岡本 真琴	北九州周辺地域を核とする「ジオパーク」構想の可能性
経済学部	三輪 仁	八幡東区の地域変容と地域間関係に関する研究
国際関係学部	中野 洋一	福島原発事故とこれからの地域のエネルギーを考える
国際関係学部	山下 睦男	中国の東北地区における「遼寧省沿海経済ベルト計画」と「閩江地域協力開発計画」の現状と今後の動向について

平成24年度の主な事業活動

所属	代表者	研究テーマ
法学部	神山 智美	北九州市のESDの取組の現状と課題 -「(7)ア(ESD)」の視点を導入するための調査研究-
経済学部	清水 憲一	産業遺産の保存活用ガイドライン策定
経済学部	三輪 仁	北九州市の環境未来都市構想における周辺部開発計画と郊外自然環境・地域農業の持続性に関する研究 (小倉南区豊前新田地区を中心に)
経済学部	小江 茂徳	経営管理システムの導入がもたらす組織変革の可能性:アメリカ経営の事例から

主な研究活動実績

科学研究費助成事業

年度(研究期間)	研究種目	所属学部	職名	氏名	研究内容
平成22年度	研究成果公開促進費	法学部	准教授	安藤 花恵	演劇俳優の熟達化に関する認知心理学的研究
平成22年度(H19~H22)	基盤研究(C)	経済学部	教授	西山 茂	信託制度の形成・発展と金融システムにおけるその機能
平成22年度(H20~H22)	基盤研究(C)	法学部	教授	湯淺 聖道	情報化社会における公序の形成・維持と法制度
平成22年度(H20~H22)	基盤研究(C)	国際関係学部	助教	樋口 里華	社会経済変動の中で揺れる人々-インドの経済自由化と失業世帯の生活誌-
平成22年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	三苫 利幸	伊波普猷の「沖繩学」の可能性-近代日本のナショナリズムを攪乱する思想
平成22年度(H22~H24)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	男澤 智治	日韓における産業連携と港湾機能のあり方に関する研究
平成22年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	安藤 友張	戦後日本における学校図書館法の成立過程に関する実証的研究
平成23年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	三苫 利幸	伊波普猷の「沖繩学」の可能性-近代日本のナショナリズムを攪乱する思想
平成23年度(H22~H24)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	男澤 智治	日韓における産業連携と港湾機能のあり方に関する研究
平成23年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	安藤 友張	戦後日本における学校図書館法の成立過程に関する実証的研究
平成23年度(H20~H23)	若手研究(B)	経済学部	准教授	齋藤 隆志	企業内人事制度と労働インセンティブ
平成23年度(H23~H25)	若手研究(B)	法学部	准教授	竹村 仁美	国際刑事司法における正当性・民主的正当性の指標に関する実証的研究
平成23年度(H23~H24)	若手研究(B)	経済学部	助教	山本 健太	現代演劇の消費空間と大都市集積に関する研究
平成24年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	三苫 利幸	伊波普猷の「沖繩学」の可能性-近代日本のナショナリズムを攪乱する思想
平成24年度(H22~H24)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	男澤 智治	日韓における産業連携と港湾機能のあり方に関する研究
平成24年度(H22~H25)	基盤研究(C)	経済学部	准教授	安藤 友張	戦後日本における学校図書館法の成立過程に関する実証的研究
平成24年度(H23~H25)	若手研究(B)	法学部	准教授	竹村 仁美	国際刑事司法における正当性・民主的正当性の指標に関する実証的研究
平成24年度(H23~H24)	若手研究(B)	経済学部	助教	山本 健太	現代演劇の消費空間と大都市集積に関する研究
平成24年度(H24~H26)	基盤研究(C)	経済学部	教授	緒方 隆	人的資本クズネットカブに関する理論・実証研究
平成24年度(H24~H28)	基盤研究(C)	経済学部	教授	西山 茂	実績担当主義の基礎研究:信託におけるリスクの配分と負担
平成24年度(H24~H26)	基盤研究(C)	国際関係学部	教授	大形 里美	インドネシアのイスラム復興現象の新展開-イスラム新興ビジネスの発展と動向-

その他研究助成金

年度	所属	職名	氏名	研究助成金
平成22年度	法学部	教授	湯淺 聖道	財団法人放送文化基金助成
平成22年度	経済学部	教授	清水 憲一	北九州市学術・研究振興事業調査研究助成
平成22年度	経済学部	教授	奥園 幸彦	北九州市学術・研究振興事業大学連携促進助成金
平成22年度	社会文化研究所	助手	山本 順之	北九州市立男女共同参画センター「ジェンダー問題調査・研究支援事業」助成基金
平成23年度	法学部	准教授	神山 智美	北九州市学術・研究振興事業調査研究助成
平成23年度	経済学部	教授	奥園 幸彦	北九州市学術・研究振興事業大学連携促進助成金

受託研究関係

年度	所属	職名	氏名	受託研究先
平成22年度	社会文化研究所	客員研究員	市原 猛志	公益財団法人北九州活性化協議会北九州イノベーションギャラリー
平成22年度	法学部	教授	湯淺 聖道	(独)科学技術振興機構 JST
平成23年度	社会文化研究所	客員研究員	市原 猛志	公益財団法人北九州活性化協議会北九州イノベーションギャラリー
平成23年度	経済学部	教授	宮崎 昭	(独)科学技術振興機構 JST
平成23年度	社会文化研究所	客員准教授	神力 潔司	総務省・北九州市
平成24年度	経済学部	教授	宮崎 昭	(独)科学技術振興機構 JST

施設設備

充実した施設で学生のキャンパスライフをサポートします。

学生の望むキャンパスライフにこたえるために、理想的な環境を整えた九国大のキャンパス。門や塀がなく、周辺の環境とも調和のとれたキャンパスは、「第2回(平成13年度)北九州市都市景観賞」を受賞するなど、とても美しく開放的で、施設や設備もしっかり充実しています。充実した施設は学生のみならず、地域や一般の方々もご利用いただけます。



大教室 KIUホール
最大530人を収容できる大教室。200インチの大型スクリーンも完備しています。



法廷教室 3号館
大阪の地方裁判所をモデルにして作られた法廷教室。模擬裁判も行っています。



エクステンションセンター 3号館
民間資格から国家資格まで、さまざまな資格取得のサポートをしています。



体育館 KIUドーム
運動部の練習や式典に使用され、天井が幕張りの開放的な体育館です。



図書館 メディアセンター
蔵書数42万冊。新聞も国内紙12紙、外国紙5紙と種類も豊富な充実した図書館です。



トレーニングルーム KIUドーム
九国大生は無料で使用できます。シャワールームも完備しています。



事務室 1号館



教室 2号館



キャリア支援室 3号館



システムカフェ メディアセンター



KIUカフェ KIUホール



生協 KIUホール



スタディスペース 2号館



フリースペース 2号館

教育サポート

本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、個性の伸長と人格の完成を旨とし、法学、経済学、経営学、国際関係学に関する専門的知識を教授し、北九州の地域に立脚し、国際的視野を持った理論・実践両面に明るい人材を養成することを目的とします。



教育プログラム

体系的なキャリア教育プログラムで、目標を見つける。夢に近づく。

1 人生を自分でデザインする。

キャリア形成の必要性はますます重要になっています。九国大ではキャリア形成を人間教育の一つに位置づけ、全員が受講できる正課授業にしています。

3 企業や実社会を体感するインターンシップ。

希望する仕事自分が合っているか適性を見極めたり、企業を見る目が養われるなど、就職に対する意識が変わります。インターンシップの参加学生の多くは、早期に就職が決定しています。

2 正課授業で、早い時期に目標を見つける。

1年次の「キャリアデザイン」で、自己分析や職業について学び、早い時期に将来について考え、目的意識を持たせます。さらに職業意識を深めたい人のために「キャリアプラン」という講義を用意しています。

4 全学部でキャリア形成に取り組んでいます。

演習という少人数教育を徹底しています。また、各学部資格取得のための受講料の補助や合格者の表彰制度などがあり、学生一人ひとりのやる気を引き出します。

法学部の「法学部奨励賞」

資格試験に合格した人や、ボランティアなど有意義な活動をした人、後輩の指導にあたったピアサポーターなどを表彰、図書カードを贈っています。

国際関係学部の「夢カフェ」と「未来履歴書」

先生と4、5人の学生がざっくばらんに語る「夢カフェ」や、自分の人生設計をたてる「未来履歴書」づくりで、入学時から就職までをきめ細やかにサポートしていきます。

学生生活支援制度

本学には独自の奨学金制度として特別奨学生奨学金、一般奨学生奨学金の2種類が設けられており、本学の大きな特色の一つになっています。

九州国際大学独自の奨学生制度

■ 入学時

名称	内容	条件など
奨学生制度 学費免除／給付	4年間の授業料30%が免除	本学が指定する入試制度及び奨学生試験において、極めて優秀な成績で合格した上位者

■ 在学中

名称	内容	条件など
学術奨学生 学費免除／給付	1年間の授業料30%が免除	2～4年生。前年度の学業成績・人物ともに優秀な学生を採用。
同窓会奨学金 学費免除／給付	年額120,000円(月額10,000円)	1～4年生。向上心があり、有能な資質を持つ学生を採用。
貸与奨学金 貸与	半学期の授業料相当額	1～4年生。学業成績・人物ともに優秀でかつ学資の支弁が困難な学生を採用(1年生は前期修了後に申込可能)。

その他の支援制度

■ 在学中

名称	内容	条件など
北九州市奨学金 通常貸付(無利子) 貸与	国公立大学の場合／月額45,000円 私立大学の場合／月額54,000円	◎北九州市内に6ヵ月以上住所(住民票)を有する人、又は6ヵ月以上住所(住民票)を有する人の子弟であること ◎大学・短期大学又は大学院に入学予定、又は在学中であること ◎専修学校(専門課程・一般課程)、各種学校及び大学校(防衛大学校・水産大学校・海上保安大学校等)など、学校教育法第1条に規定されていない学校は対象外です。 ◎成績優秀で、経済的理由により修学困難であること ◎日本学生支援機構奨学金、同種(貸付型)の奨学金を受けていないこと
日本学生支援機構奨学金 第一種奨学金(無利子・定額型) 貸与	自宅通学生／月額30,000円又は月額54,000円のどちらかを選択 自宅外通学生／月額30,000円又は月額64,000円のどちらかを選択 ※2012年度入学生	■貸与期間：最短修業年限 ■募集期間：4月中旬～下旬 ■交付時期：7月中旬 ■返還：借入金額により異なる ■選考：学業成績、家庭の経済事情、人物等の選考を行い、総合得点の上位から日本学生支援機構に推薦
日本学生支援機構奨学金 第二種奨学金(有利子・選択型) 貸与	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 30,000円／50,000円／80,000円／100,000円／120,000円 ※途中で月額を変更することもできます。	■貸与期間：最短修業年限 ■募集期間：4月中旬～下旬 ■交付時期：7月中旬 ■返還：借入金額により異なる ■選考：学業成績、家庭の経済事情、人物等の選考を行い、総合得点の上位から日本学生支援機構に推薦

教育ローン

本学に入学・在学する学生の保護者の方は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込むことができます。「国の教育ローン」は、教育に必要な資金を融資する公的な制度です。

■融資額：学生1人あたり300万円以内 ■利率：年2.65%(平成24年5月16日現在) ■返済期間：15年以内(母子家庭・交通遺児家庭の方は18年以内)
■使いみち：入学金、授業料、教科書代、アパートの敷金・家賃など ■保証：(財)教育資金融資保証基金または連帯保証人
※詳しくは、「国の教育ローン」コールセンター(0570-008656、03-5321-8656)までお問い合わせください。

学費等延納制度

予期せぬ災害などで在学中に家計が急変し、納期までに学費が支払えなくなった場合のために、学費等延納制度という制度があります。所定の書類を期日までに提出し、許可を受ければ、納期を2ヵ月先までに延納することができます。

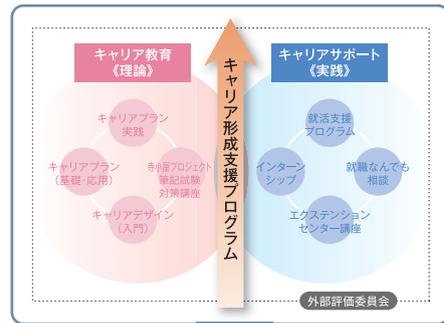
就職サポート・就職実績

「自ら考え、行動する、自立した主体的社会人の育成」

～学生の成長を願う気持ちから生まれたキャリア形成支援プログラム～

「KIU-SPICE」は、Kyushu International University Support Program In Career Educationの略称。「本学の全ての学生に対して、社会で通用する“社会人基礎力”を養ってもらい、卒業後は市民としての常識を持って主体的に行動し、職業生活で直面する問題を的確に解決できる人材に育てて欲しい」そんな熱い想いを込め、本学キャリア支援室が3年にわたり取組んできたキャリア形成支援プログラムです。

本プログラムは、本学の教育理念である「理論と実践両面に明るい人材養成(育成)」をキャリア教育に端的に具現化したものです。入学年次からの4年間を通じ、社会人基礎力、人間力、就職力を身につけるための正課授業による「キャリア教育」として、学生に自己発見の機会と新鮮な刺激(スパイス)を適宜提供しつつ能動的な展開が繰り返される講義と、模擬試験、ワークショップ、インターンシップ等、より実践的展開を図る「キャリアサポート」を総合的に体系化。理論と実践の両面から実効的なキャリア教育を展開することで、学生の就職活動を強力に支援していきます。「自ら考え、行動する、自立した主体的社会人」を育み、「参加学生の就職率100%」実現を目指してスタートした「KIU-SPICE」。蓄積された様々な成果を発展的に吸収し、更なる強化・拡充が図られたプログラムとして、これからも積極的に推進していきます。



目標 **KIU-SPICE 100%**
参加学生の就職率100%実現プログラム

本学のこの取組みは、学生の多様化が進む中で大学の教育的保証を図り、学生の主体的人格形成による学力を含む社会人基礎力の確保を目的に、文部科学省が財政支援を行う「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに平成21年度から採択。本年度は、これまでの蓄積を活かし、より充実したプログラムとして再編、新たな展望の下、目標実現を目指し、意欲的に取組みます。

「社会に出るのが楽しみになる」充実のプログラム

「KIU-SPICE」プログラムでは、入学時からの3年間を通じ、体系的キャリア教育を「入門→基礎→応用→実践」と段階的・発展的に展開。社会が求める「社会人基礎力」「就職基礎能力」「人間力」「ジェネリックスキル(汎用力)」を培い、調和のとれた主体的人格を育む内容がギュッと凝縮された「社会人準備プログラム」です。

- ◎1年次では、自己発見・自己理解と仕事理解を行う。
- ◎2年次では、職業意識の向上を図り、キャリア開発能力の基礎づくりをする。
- ◎3年次では、実践的なビジネススキルを学び、「インターンシップ」で現場を体験。

さらに、3年次後半から4年次にかけても続々と実践的な各種プログラムを投入して強力に就活を支援します。併せて、資格取得・スキルアップについてもエクステンションセンターの講座活用により、容易にその実現を図ります。「社会に出るのが楽しみになる」そんな充実のプログラムで、学生個々人の理想の進路実現を万全な体制でサポートしていきます。

1. 早期低学年からの体系的なキャリア教育

本プログラムの特徴は、キャリアプランを正課授業の中に入られ、人間力と就職力を段階的・効果的に身につけられること。共通テキストとして使用する「KIUキャリアサポートガイドブック」は、学生生活のあり方と将来の進路を結びつけるツールとして、「自己発見・自己理解」を促し、「自ら考え・行動する」ためのヒントを提供するのみならず、「大学生活の歩き方」という新入生教育としての機能も兼ね備えています。

2. 即効性の高い、実践的なキャリアサポート

就職活動に向けてビジネスマナーやビジネススキルを実践的に学ぶ機会の提供ならびに、より実効的な就職サポートを目的に、各種就活支援講座、合同研修、業界研究会、学内企業説明会、学内企業合同面談会等を開催。なかでも、インターンシップ(就業体験)は、2年次生から参加可能な企業実習型のキャリアプログラムで、九州インターンシップ推進協議会とも連携し、充実した運営を展開。さらに、資格取得・スキルアップについてもエクステンションセンター講座の活用を図るなど、支援体制とその運営に万全を期しています。

3. 就職アドバイザーによる「就職なんでも相談」

就職アドバイザーとして、元企業の人事・採用担当者起用。3年次生や4年次生はもとより、在学生から卒業生までを対象に、「就職なんでも相談」を実施。就活における不安や悩み解消のアドバイスから、履歴書・エントリーシートの添削指導、業界・企業の選定方法、面接指導などの実践的指導まで、幅広くこまやかなフォローで就職サポートを行います。

4. リアルタイムで確実に、就職情報を！モバイル情報一斉配信システム

迅速・正確・確実な就職情報の提供を目的に、「モバイル情報一斉配信システム」を導入しています。登録さえすれば、1年次生から4年次生、卒業生までが利用可能。何時でもどこからでも、リアルタイムで就職情報入手し、機会をフルに活かした就活ができます。

5. 社労士を就職アドバイザーに迎え、採用企業開拓の充実を図る

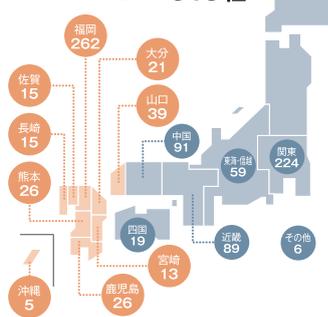
社会保険労務士を就職アドバイザーとして迎え、その労務管理に関する専門知識を幅広い人脈を活かした就職支援が行われます。具体的には、学生の就職先となる採用企業の新規開拓と情報収集の拡充およびインターンシップ受入企業への訪問実施により、就職率の維持・拡大の基盤をしっかりと支えます。

6. 個別学習方式による筆記試験対策「寺小屋プロジェクト」

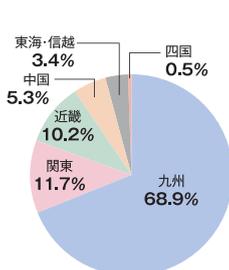
教養基礎科目(国・英・数)を中心とした「基礎学力向上プログラム」の1・2年次正課授業への導入、ならびに就職筆記試験対策として、寺小屋方式による講義や実践を行う「寺小屋プロジェクト」を実施。学生個々人の基礎学力の維持・向上を図るため、パソコンを活用した持続的な自主学習スタイルも併用し、講師からの指導・アドバイスもWeb上で個別に受けられる仕組みになっています。さらに、エクステンションセンター講座では、志望業界や公務員志望などに応じた各種資格取得講座等も用意。寺小屋プロジェクトの延長線をも見据えた完全フォロー体制で臨んでいます。

DATA (平成24年5月現在)

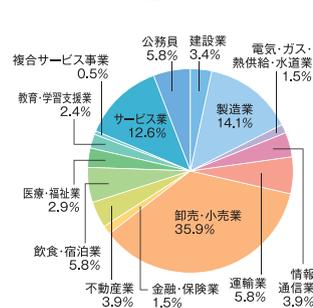
〈地域別求人社数〉910社



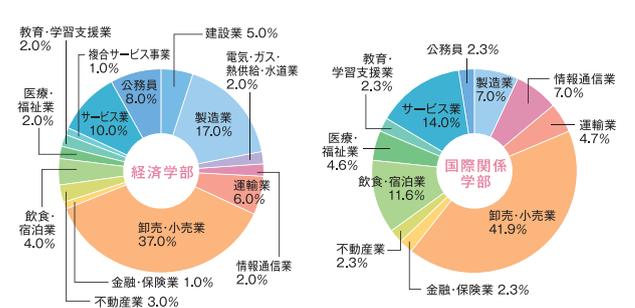
〈地域別就職状況〉



〈業種別就職実績〉



〈学部別就職実績〉



大学全体の就職率 **88%**

九州国際大学付属高等学校

■創立：1958年 ■男女共学
■生徒数：1763名（5月1日現在）

2010年、男女共学としてスタートした九州国際大学付属高等学校。今まで受け継がれてきた伝統と、北九州屈指の進学・スポーツ実績をもつ学校としての誇りを胸に、より質の高い教育を実現します。新生・九国付が掲げるのは、「知・徳・体」のバランスがとれた人間教育です。高校で過ごす3年間は、将来の基盤となる大事な時期です。学力向上はもちろん、心身ともに健全で、社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に努めています。



- 目指す学校像**
- ◎生徒の夢と目標を実現できる進学校
 - ◎文武両道を実践する学校
 - ◎他を思いやる豊かな心を育む学校
 - ◎時代をリードする国際性を育てる学校

- **難関クラス**……九州大学以上の難関大学・国立大学医学部への合格を目指します。クラブ活動への参加も可能です。
- **S特進・特進クラス** 国公立大学への合格を目指します。クラブ活動や学業との両立も目標です。
- **準特進クラス**……特進クラスへのステップアップを目指します。国公立・私立の中堅大学への合格が目標です。
- **進学クラス**……特進・準特進クラスへのステップアップを目指します。国公立・私立大学への合格が目標です。
- **国際コミュニケーションクラス** 英語教育に重点を置き、国際感覚を身につけながら大学進学をめざします。
- **トップアスリートクラス**……クラブ活動と勉強の両立を果たしながら、全国大会出場を目指します。また、基礎力の充実を図り大学進学をめざします。

九州国際大学付属中学校

■創立：2000年 ■男女共学
■生徒数：196名（5月1日現在）

中学・高等学校は、その教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間教育」「個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げています。充実した中学校生活を過ごし、たしかな知力と徳力、体力を身につけ、より高い進路の実現をめざします。



- 目指す生徒像**
- ◎志を高く持ち、意欲をもって学習に取り組む生徒
 - ◎優しさと思いやりの心をもって行動する生徒
 - ◎自らに厳しく、責任感を持って、たくましく活動する生徒

「塾的精神」で励ましあい、磨きあう

教室内外での授業にとどまらず日常生活のあらゆる場面で、生徒と先生が相互に切磋琢磨し、優れた人格を形成し、自らの志を遂げよう。この精神を我々は「塾的精神」と呼び、実践します。教育は手間をかけた人づくり。互いに心的鍛錬を重ねながら、誠実で才能豊かな、社会に役立つ人材の育成をめざします。

個性と能力を引き出す

学校・地域・家庭生活を通して、一人ひとりの個性を引き出し、個々の能力を最大限に伸ばせるよう、きめ細かな教育を行います。

21世紀の国際社会を支える基礎作り

言語活動や理数教育を充実し、「確かな学力」を育み、21世紀を支える国際人として活躍できる基礎を作ります。

各種DATA一覧 （平成24年度）



教職員数 （平成24年5月1日現在）

教員総数

名称/学部	教授		准教授		講師		助教		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
学長・副学長	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
法学部	11	0	6	5	0	0	1	0	18	5	23
経済学部	17	1	8	2	0	0	3	1	28	4	32
国際関係学部	6	2	2	3	0	0	3	2	11	7	18
別科日本語研修課程	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総合計	41		26		0		10		77		77

※大学院は兼務

職員数

名称	男	女	合計
大学事務職員	41	29	70

学生数 （平成24年5月1日現在）

大学 在学生総数

学部	学科	1年次		2年次		3年次		4年次以上		合計		総合計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
法学部	法律学科	150	25	157	27	142	35	141	35	592	122	714
	総合実践法学科	-	-	-	-	-	-	9	0	9	0	9
経済学部	経済学科	112	11	115	19	175	21	131	22	533	73	606
	経営学科	63	22	75	29	81	39	82	37	301	127	428
国際関係学部	国際関係学科	53	45	65	48	39	44	49	59	206	196	402
総合計		481		537		576		565		2,159		2,159

大学院 在学生総数

名称/専攻	1年次		2年次		合計		総合計
	男	女	男	女	男	女	
法学研究科/法律学専攻	3	5	8	3	11	8	19
企業政策研究科/企業政策専攻	2	2	5	2	7	4	11
総合計	12		18		30		30

日本語別科 在学生数

名称	男	女	合計
日本語別科	2	2	4

各種DATA一覽 (平成24年度)

附属学校生徒総数

名称	総合計
附属高等学校	1,763
附属中学校	196

卒業生総数

名称	総合計
大学	35,330
大学院	390
日本語別科	545
附属高等学校	35,882

大学 留学生数 (交換留学生数除く)

学部	1年次	2年次	3年次	4年次以上	合計
法学部	0	2	7	2	11
経済学部	27	43	59	60	189
国際関係学部	8	25	16	32	81
学部研究生	-	-	-	-	2
合計	35	70	82	94	283

※学部研究生は経済学部所属

大学院 留学生数

学部	1年次	2年次	3年次以上	合計
法学研究科	1	0	0	1
企業政策研究科	1	6	1	8
合計	2	6	1	9

交換留学生数

国籍	総合計
インドネシア	1
韓国	2
中国	2
台湾	2
合計	7



学部別サークル加入者数

年度	法学部	経済学部	国際関係学部	合計
2012年度	486人 (723人)	521人 (1,034人)	202人 (402人)	1,209人 (2,159人)
2011年度	456人 (693人)	534人 (1,090人)	218人 (433人)	1,208人 (2,216人)
2010年度	328人 (688人)	419人 (1,118人)	161人 (445人)	908人 (2,251人)
2009年度	249人 (701人)	314人 (1,017人)	125人 (504人)	688人 (2,222人)

※()内人数は在籍中の学生全体数

国籍別留学生数

国籍名称	大学	大学院	別科	交換留学	合計
アメリカ	1	0	0	0	1
インドネシア	0	0	0	1	1
カナダ	1	0	0	0	1
スウェーデン	1	0	0	0	1
タイ	1	0	0	0	1
バングラデシュ	1	0	0	0	1
ベトナム	18	0	0	0	18
ミャンマー	1	0	0	0	1
韓国	15	0	0	2	17
台湾	0	0	0	2	2
中国	244	9	4	2	259
合計	283	9	4	7	303

図書館資料・冊数

和書	洋書	合計
362,626	86,323	448,949

図書館利用者数

入館者数	AV利用数	図書貸出数
76,397(5,409)	1,830	8,682(2,973)

※()内人数は学外利用者数

大学校地面積

(単位: m)

学校種別	土地	建物	合計
大学(平野)	83,043	43,298	126,341
高等学校(枝光)	57,354	33,722	91,076
中学校(枝光)	10,944	7,467	18,411
合計	151,341	84,487	235,828

入学試験状況 (平成24年3月31日現在)

学部・研究科・課程/学科・専攻	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	
法学部	180	283	282	281	175	
経済学部	経済学科	150	223	217	216	123
	経営学科	130	120	118	113	78
国際関係学部	140	166	165	165	93	
合計	600	792	782	775	470	
大学院	法学研究科/法律学専攻	10	24	24	9	8
	企業政策研究科/企業政策専攻	20	4	4	3	3
合計	30	28	28	12	11	

平成24年度 学校法人九州国際大学予算 消費収支計算書

消費収入の部

(単位: 千円)

項目	収入合計
学生生徒等納付金	2,432,625
(授業料)	1,755,134
(保護者負担軽減額)	△ 27,633
(入学金)	89,940
(実験実習料)	1,000
(施設設備資金)	80,760
(教育充実費)	533,424
手数料	77,848
(入学検定料)	71,923
補助金	883,244
(国庫補助金)	279,030
(地方公共団体補助金)	603,964
(その他の補助金)	250
資産運用収入	57,050
事業収入	94,208
(補助活動収入)	90,808
(受託事業収入)	3,400
雑収入	222,238
帰属収入合計	3,767,213
基本金組入額合計	△ 83,765
消費収入の部合計	3,683,448

※()内は、主な科目を内数として表示

消費支出の部

(単位: 千円)

項目	支出合計
人件費	2,371,459
(教員人件費)	1,539,051
(職員人件費)	595,537
(役員報酬)	35,868
(退職金)	113,357
(退職給与引当金繰入額)	87,646
教育研究経費	1,178,336
(奨学費)	362,713
(減価償却額)	355,104
管理経費	412,871
(減価償却額)	83,532
借入金等利息	8,387
資産処分差額	0
[予備費]	25,000
消費支出の部合計	3,996,053
当年度消費支出超過額	312,605

※()内は、主な科目を内数として表示

教員紹介

(平成24年5月1日現在)

法学部 法律学科

学部長	山本 啓一	国際政治学
教授	赤間 英夫	スポーツ
教授	秋山 安永	英語
教授	権田 和雄	税法
教授	櫻井 弘晃	民法
教授	藤 勝宣	教育学
教授	通山 昭治	外国法
教授	富永 猛	行政法
教授	古屋 邦彦	企業法務
教授	堀田 泰司	民法
教授	芦 益平	中国語
教授	渡辺 守雄	政治学原論
准教授	安藤 花恵	心理学
准教授	岩元 啓也	英語
准教授	呉 珠熙	日本語
准教授	神山 智美	憲法
准教授	鈴木 博康	刑法
准教授	高木 康衣	商法
准教授	竹村 仁美	国際法
准教授	西村 成樹	文学
准教授	林田 幸広	憲法
准教授	松本 幸一	キャリアデザイン
准教授	吉村 真性	刑事訴訟法
助教	菅尾 暁	民法
特任教授	田中 信孝	不動産法
特任教授	三浦 尚司	自治体とリスク

経済学部 経済学科

学部長	野村 政修	環境経済学
教授	緒方 隆	ミクロ経済学
教授	島浦 一博	ドイツ語
教授	清水 憲一	日本経済史
教授	山口 秋義	経済統計
教授	山田 信一	マクロ経済学
准教授	安藤 友張	図書館学
准教授	上坂 豪	金融論
准教授	宇都宮 浩司	外国史
准教授	齋藤 隆志	労働経済学
准教授	藤 貴子	財政学
准教授	三輪 仁	地域経済論
助教	松尾 美紀	経済政策
助教	山本 健太	人文地理学
特任教授	江本 伸哉	日本経済論



経済学部 経営学科

教授	青木 美樹	国際マーケティング論
教授	浅田 正	コンピュータ概論
教授	池田 光則	経営学
教授	奥蘭 幸彦	会計学
教授	男澤 智治	流通経済論
教授	北川 正一	数学
教授	中里 彰	教育制度論
教授	西山 茂	銀行論
教授	宮崎 昭	マーケティング論
教授	脇山 昇	簿記論
准教授	伊東 美津	英語
准教授	岡本 真琴	地球科学
准教授	中間 信博	企業論
准教授	三笥 利幸	社会学
助教	小江 茂徳	経営管理論
助教	村田 晋也	労務管理論
特任教授	齋藤 貞之	経営管理論

国際関係学部 国際関係学科

学部長	加藤 和英	国際関係学
教授	井上 貴仁	中国語
教授	大形 里美	比較宗教論
教授	大園 弘	英語
教授	高路 善章	英語
教授	中野 洋一	国際経済学
教授	福島 規子	ホスピタリティ・マネジメント
教授	森脇 喜一	韓国語
准教授	太田 かおり	英語
准教授	S.L.ブラウン	英語
准教授	崔 錦珍	観光マネジメント論
准教授	細木 由紀子	英語
准教授	松井 貴英	哲学、倫理学
助教	能間 寛子	異文化コミュニケーション論
助教	樋口 里華	国際社会学
助教	藤井 大輔	国際協力論
助教	ニコラス・ジェームス・ケンブ	英語
助教	山本 順之	スポーツ

客員教員 (50音順)

担当	客員教授	備考	担当	客員教授	備考
産学官連携	岩科 健一	北九州高速鉄道(株) 代表取締役社長	産学官連携	平澤 冷	東京大学名誉教授
秘書業務	上野 博美	未来塾 塾長	知的財産権法	平田 義則	弁理士
日韓交流史	宇佐波 雄策	元九州国際大学教授	登記法	三代 毅昭	司法書士
環境科学	岡本 久人	次世代システム研究所 所長	産学官連携	湯浅 壘道	情報セキュリティ大学院 大学教授
社会文化研究所	亀田 一邦	九州国際大学付属高等学校専任教諭	経営財務研究	吉田 尚是	公認会計士
地方財政論	木村 隆	元北九州市 若松区長	担当	客員准教授	備考
特殊講義 (知の技法)	國領 眞悟	元九州国際大学付属中学校長	リスクマネジメント 実習	黒岩 淳	北九州市障害福祉 ボランティア協会
労働法	後藤 勝善	元九州国際大学教授	産学官連携	神力 潔司	九州国際大学 法人経営企画室長
リスクマネジメント コース	佐木 隆三	作家	担当	客員助教	備考
リスクマネジメント コース	柴田 高博	元国土交通省都市・地域整備局長	地域連携型教育 改革推進	藤野 博行	地域連携型コーディネーター
産学官連携	田原 克芳	元陸上自衛隊富士学校長			
自治体とリスク	西村 博	元北九州市消防局長 北九州市シルバー人材センター理事			
国際関係特殊講義	野口 春生	元(株)エフエム福岡 理事			

役員・役職者一覧

(平成24年6月1日現在)

役員

- | | | |
|---|--|---|
| <p>■ 理事長
高野 利昭</p> | <p>■ 副理事長
原田 經正</p> | |
| <p>■ 理事
堀田 泰司
(九州国際大学 学長)</p> | <p>■ 理事
伊東 正和
(九州国際大学付属高等学校 校長)</p> | <p>■ 理事
碓 金藏
(九州国際大学同窓会 会長)</p> |
| <p>■ 理事
加賀美 清之</p> | <p>■ 理事
小林 正毅
(九州国際大学付属高等学校同窓会 会長)</p> | <p>■ 理事
白川 祐治
(福岡銀行取締役常務執行役員
北九州本部委嘱)</p> |
| <p>■ 理事
中村 真人
(株式会社井筒屋特別顧問)</p> | <p>■ 監事
神尾 榮一
(神尾公認会計士事務所代表)</p> | <p>■ 監事
佐藤 博勝
(佐藤博勝税理士事務所代表)</p> |

役職者

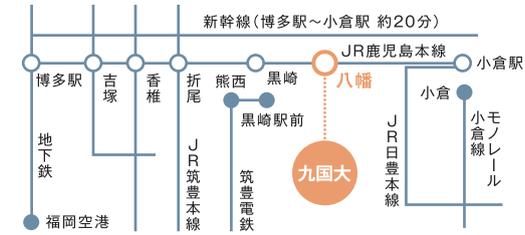
- | | | |
|---|--|---|
| <p>■ 学長
堀田 泰司</p> | <p>■ 副学長(大学改革担当)
渡辺 守雄</p> | <p>■ 副学長(認証評価担当)
兼 学生部長
中野 洋一</p> |
| <p>■ 法学研究科長
通山 昭治</p> | <p>■ 企業政策研究科長
兼 教務部長
兼 社会文化研究所長
宮崎 昭</p> | <p>■ 法学部長
山本 啓一</p> |
| <p>■ 経済学部長
野村 政修</p> | <p>■ 国際関係学部長
加藤 和英</p> | <p>■ 日本語科長
男澤 智治</p> |
| <p>■ 図書館長
兼 教育情報ネットワークセンター長
富永 猛</p> | <p>■ 国際センター長
森脇 喜一</p> | <p>■ 入試・広報部長
奥蘭 幸彦</p> |
| <p>■ 就職・進路部長
兼 エクステンションセンター長
中里 彰</p> | | |

INFORMATION

インフォメーション

交通アクセス

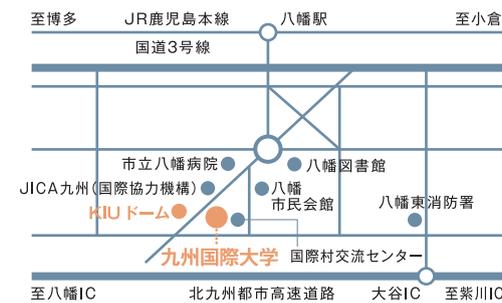
JRを利用



- 博多駅から八幡駅まで特急で約40分、八幡駅から九州国際大学まで徒歩約8分
- 小倉駅から八幡駅まで快速で約11分、普通で約15分、八幡駅から九州国際大学まで徒歩約8分



車を利用



- 北九州都市高速で八幡ICから大谷ICまで約15分、下車後九州国際大学まで約5分
- 北九州都市高速で門司ICから大谷ICまで約25分、下車後九州国際大学まで約5分
- ☆ 学内に有料駐車場あり(約280台収容、200円/回、利用時間8:30~21:00)。紙幣は使用できない場合がありますので、あらかじめ小銭をご用意下さい。二輪車は駐輪場をご利用下さい(無料)。

ホームページ

常に最新の情報を更新している九国大ホームページでは、さまざまな内容を詳しく紹介しています。受験生・在学生・卒業生・地域の皆さまなど、知りたい情報もすぐに検索できるような内容になっています。

<http://www.kiu.ac.jp/>

学園広報誌「キュウトビ」

大学、付属高校・中学の情報が掲載された学園総合広報誌「キュウトビ」が復刊されました。名称の意味は「九国の扉」を略したのですが、「飛び立つ」飛び出せ! などネーミングの響きは「飛躍」をもイメージすることができます。

年1回発行しています。